

# 海外調査結果報告

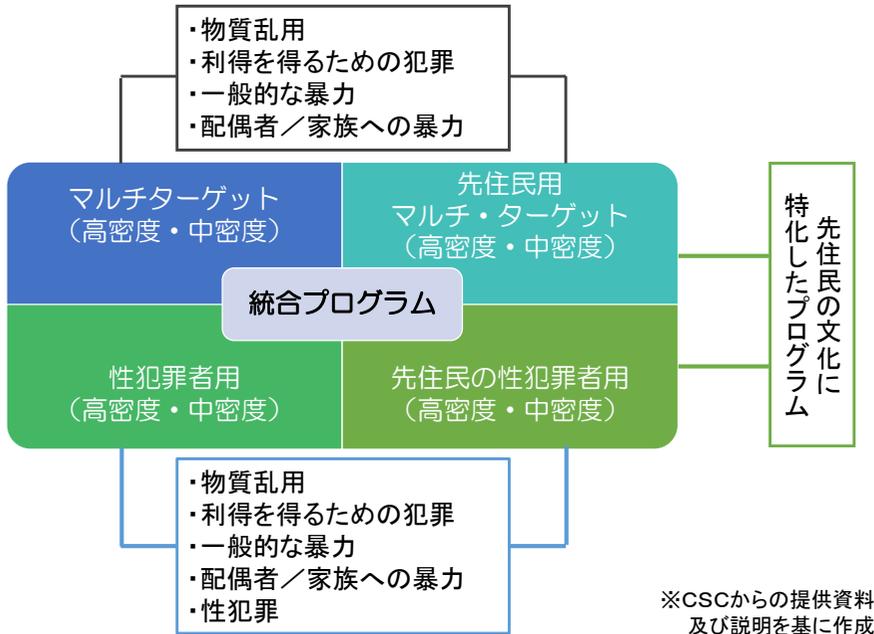
## ～カナダにおける性犯罪者処遇プログラム～

矯正局成人矯正課

### 調査の概要

- ◆2019年12月9日から同月18日にかけて、カナダにおける性犯罪者処遇について、処遇プログラムを中心に現地調査を実施した。
  
- ◆訪問先
  - ・カナダ連邦矯正局
  - ・オタワ保護観察所
  - ・連邦ジョイスヴィル刑務所
  - ・連邦ワークワース刑務所
  - ・モントリオール大学 フランカ・コルトニ教授
  - ・ウェイポイント精神保健センター 研究臨床家リアム・マーシャル氏

## 統合プログラムの全体像



## 性犯罪者の再犯率 (カナダにおけるメタ分析による研究結果)

性犯罪	13.7%
性犯罪以外の暴力犯罪	14.0%
性犯罪を含めた暴力犯罪	25.0%
全般的な犯罪	36.9%

※平均観察期間: 5～6年

※Meta-Analytic Review(Hanson & Morton-Bourgon,2004)

※CSCからの提供資料及び説明を基に作成

## 統合プログラムの理論的枠組み

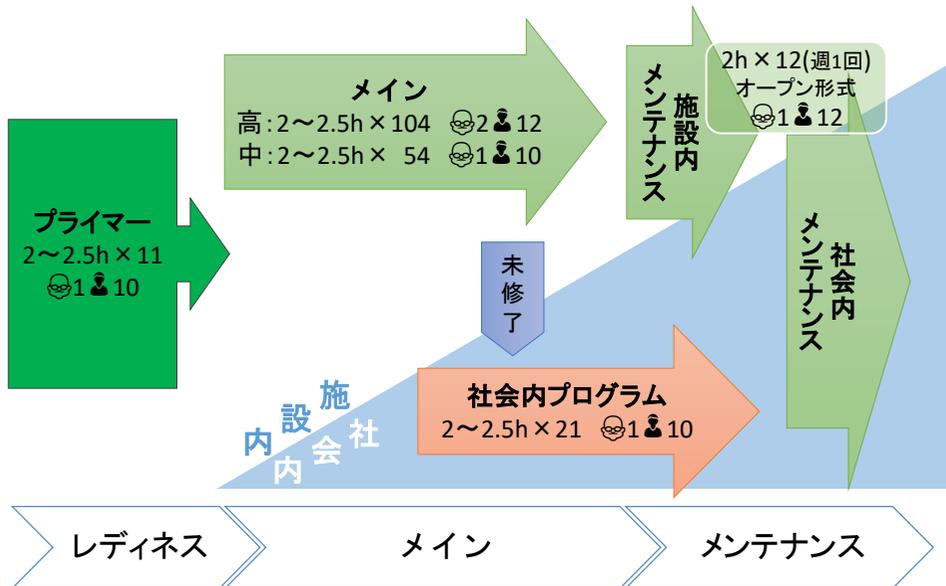
RNR原則

GLM: グッド・ライブズ・モデル

CBT: 認知行動療法

※CSCからの提供資料及び説明を基に作成

## 統合プログラム性犯罪者用の流れ



※CSCからの提供資料及び説明を基に作成

## プライマーで特定する個人別ターゲット一覧

マルチ・ターゲットにおける個人別ターゲット	性犯罪者に特化した個人別ターゲット
調和のとれた生産的な生活スタイルを維持する。	性的なとらわれ/性衝動を統制する。
問題解決及び困難への対処を効果的に行う。	歪んだ性的ファンタジー・興奮を統制し、適切な性的ファンタジー・興奮を増やす。
衝動や誘惑に対処する。	性犯罪/危険な性的行動を正当化・支持する思考を統制する。
健康的な関係性や支援を確立し維持する。	
健康的な親密関係を確立し維持する。	
感情を統制するための思考や行動スキルを使用する。	
物質乱用を正当化・支持する思考を統制する。	
利得を得るための犯罪を正当化・支持する思考を統制する。	
暴力や攻撃を正当化・支持する思考を統制する。	
配偶者への暴力や攻撃を正当化・支持する思考を統制する。	

※CSCからの提供資料及び説明をもとにまとめたもの

## 統合プログラム性犯罪者用(メイン)で扱うスキル

- ◆ニーズの特定と目標設定
- ◆社会的/コミュニケーション/対人スキル
- ◆問題解決スキル
- ◆認知の再構築
- ◆興奮を低減させる戦略/対処スキル
- ◆性的自己統制スキル
- ◆セルフ・マネジメント及びセルフ・モニタリング・スキル

※CSCからの提供資料及び説明を基に作成

## 統合プログラム性犯罪者用(メイン)の概要

	高密度	中密度
対象者・リスク	高リスクとされた男性性犯罪者	中リスクとされた男性性犯罪者
プログラムフォーマット	104セッション 6回の個別セッションを含む。	54セッション 5回の個別セッションを含む。
時間/回	2～2.5時間/回	2～2.5時間/回
指導者	訓練されたプログラム担当職員2名	訓練されたプログラム担当職員1名
グループサイズ等	最大12名, 固定メンバー	最大10名, 固定メンバー
最大セッション/週	最大6セッション/週 現場施設の日課や実施スケジュールによって異なる場合がある。	
モジュール内容	M1 Good Relationships and Support M2 Feeling Good M3 Clear Thinking and Healthy Decisions	M4 Freedom and Personal Control M5 Putting it all Together
プログラム後	修了者は、必要に応じて施設内性犯罪者用メンテナンスプログラム、及び/又は、社会内性犯罪者用メンテナンスプログラムに参加する。	

※CSCからの事前の提供資料及び説明をもとにまとめたもの

## 動機付けモジュールの概要

	プログラム参加拒否者	プログラム途中離脱者	プログラムを完遂するためにサポートを要する者
対象者・リスク	中～高リスク者	中～高リスク者	中～高リスク者
フォーマット	1時間×最大4回。必要に応じて再度の参加もある。		4回
指導者	訓練されたプログラム担当職員1名(個別セッションを含む。)		訓練されたプログラム担当職員
最大セッション/週	プログラム担当職員が、柔軟に、日課や実施スケジュールに応じて行う。		必要に応じて追加で実施される。
モジュール目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Establish a rapport or working alliance</li> <li>2 Identify the reason for program refusal</li> <li>3 Problem-solve the reason for program refusal</li> <li>4 Establish an agreement for program participation</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Establish a rapport or working alliance</li> <li>2 Help the participant to identify personal goals</li> <li>3 Link the participant's goals to successful program participation</li> <li>4 Problem-solve the obstacles to successful program participation</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Establish a rapport or working alliance</li> <li>2 Identify the responsibility issue(s)</li> <li>3 Refer to the responsibility toolkit</li> <li>4 Apply the strategies from the responsibility toolkit to manage and problem-solve the responsibility issue(s)</li> </ol>
プログラム後	Motivational Moduleの修了者は、ICPMプログラムを完了することを推奨。		

※CSCからの提供資料及び説明、プログラム・オフィサーからの説明をもとにまとめたもの

## プログラム・オフィサーの研修(資格制度)

### ◆導入研修:10日間

- 性犯罪者又は先住民用のプログラムを実施する場合は,更にそれぞれ5日間の追加の研修を受ける。
- 先住民性犯罪者用プログラムを実施する場合は,更に2日間の追加研修を受ける(合計22日間)。

### ◆実施状況(実際のセッションの録画)の評価

#### ▶合格, 条件付き合格, 不合格

- マニュアルに従っているか。
- 参加者を尊重しているか。
- 時間やグループの管理は適切か。
- 参加者の課題を見過ごさずに向き合っているか。 など

### ◆指導スキルの維持

- 3年後, 6年後に再度評価を受ける必要がある。
- 1年以上プログラムを実施していない場合は, 3日間以内の研修を再度受ける。

※CSCからの提供資料及び説明を基に作成

## (参考) Circle of Support and Accountability COSA: 支援と責任の輪

### COSAとは?

概要	市民ボランティアによる性犯罪者の監督・支援活動のこと 1994年～カナダで開始。米国・欧州でも実践されている
目的	性犯罪者が再犯せず, 有意義で責任のある人生を送るよう支援すること
支援期間	約10～18か月 日常生活から性的な問題まで, 対象者個々のニーズに応じた方法で支援
考え方	再犯リスクは社会的孤立と感情的孤独により上がるという考えの下, 性犯罪者の社会的統合を目指す



司法機関の手を離れた後のアフターケアにより,  
犯罪のない安全な社会を目指す

※コルトニ教授との会談において聴取した内容及び事前・事後に収集した資料の内容をまとめたもの

## (参考)ウェイポイント精神保健センターにおけるプログラムの概要

①Motivation 動機付け	②Core 本科	③Future 将来
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Disclosure before Offense 犯罪を行う前の状況の開示</li> <li>・Autobiography 自分史</li> <li>・Self-esteem 自尊心</li> <li>・Coping Skills 対処スキル</li> <li>・Mood Management 気分の統制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Victim Empathy 被害者への共感</li> <li>・Background Factors 背景の静的要因</li> <li>・Intimate Factors 親密性の要因</li> </ul> <p>&lt;根本要因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Intimacy/Attachment 親密性/愛着</li> <li>・Sexuality 性(健康な性生活, 同意, パートナーの安全, パートナーとの話し合いなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GLM グッド・ライブズ・モデル</li> <li>・Self-monitoring セルフ・モニタリング</li> <li>・Warning Signs 警告サイン</li> <li>・Supports サポート</li> <li>・Plans プラン</li> </ul>

※プログラムは, ①, ②, ③の順番に進む。

※低～中密度, 中～高密度の2種類のプログラムを実施している。

※リアム・マーシャル氏との会談において聴取した内容をまとめたもの